

●3次元術前計画とは？

患者さんの股関節CTデータをもとに、患者さんの骨の3次元構造に適合するように、使用する人工関節パーツの種類、サイズ、角度、位置などを決定することができます。古くはレントゲン写真で2次元での計画を行っていたため、最適なサイズや設置位置、設置角度が非常にあいまいでした。

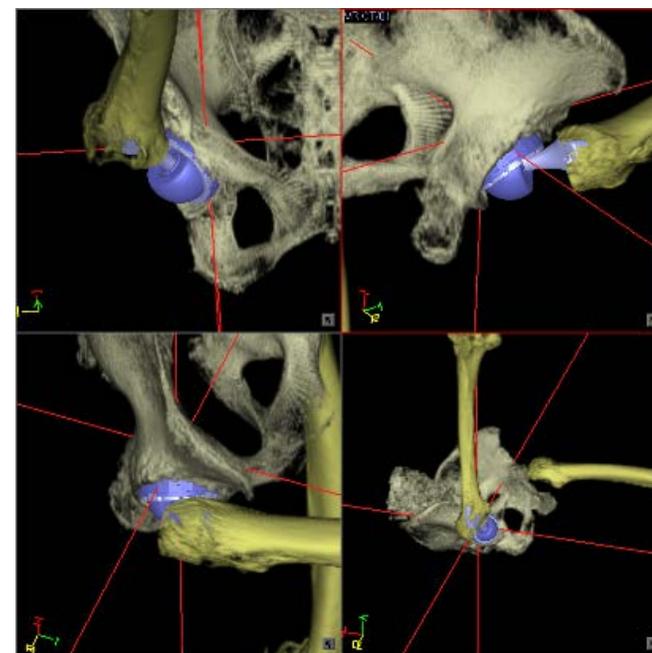
さらに人工関節パーツを計画した状態でコンピュータ上で股関節を動かしてみ、股関節可動域（股関節の曲げたり捻ったり動かせる範囲）が十分動くかどうか手術前にシミュレーションしておくことができます。



骨盤側パーツの術前計画



大腿骨側パーツの術前計画



計画した人工股関節で可動域の確認